

2016年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	文学部
評価基準1	理念・目的
点検・評価項目(1)	1-1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
評価の視点	理念・目的の明確化
	設置の主旨や歴史からみた理念・目的の適切性
	個性化・独自性、国際化への対応
点検・評価項目(2)	1-2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
評価の視点	構成員に対する周知方法と有効性
	社会への公表方法
点検・評価項目(3)	1-3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

1-1	<p>文学部の淵源は、1923（大正12）年に設立された本学の前身である大東文化学院にあり、本学において最も長い歴史を有する学部である。したがって、文学部は、本学の創設時における理念、さらにはそれを現代的に読み替えた現在の理念「アジアから世界へ—多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」を最も直接的に体現してきた学部である。学部および学科の教育研究上の目的は、以下のように学則に定めている(A1-1 第2条の2第1号)。</p> <p>文学部は、人文諸科学に関する学識を修めることを通し、広い識見と深い洞察力をもち、人間の生き方やあり方を考究し、多様な現代社会ならびに国際社会の諸問題に対応できる人材を養成することを目的とする。</p> <p>文学部日本文学科は、日本文学に関する学識を修め、多様な現代社会に対応できる能力を有する人材の養成を目的とする。</p> <p>文学部中国学科は、中国古典学に関する学識を修め、中国文化圏に対する深い洞察力と国際感覚を有する人材の養成を目的とする。</p> <p>文学部英米文学科は、英語圏の文学・語学・文化に関する学識を修め、国際語としての英語の基盤の上に立った広い見識を持つ人材の養成を目的とする。</p> <p>文学部教育学科は、教育学に関する学識を修め、教育に関する知識・技能について、理論的実践的に優れた能力を有する人材の養成を目的とする。</p> <p>文学部書道学科は、書道学に関する学識を修め、書表現および書学に秀でた人材の養成を目的とする。</p>
1-2	文学部の教育研究上の目的は、学部ホームページ、文学部『履修の手引』への掲載、学部・学科ガイダンスでの説明、教授会や学科会議での告知、受験生向けのオープンキャンパス、相談会、高等学校への出前授業などで周知している。(B1-6、A1-9 p.2、B1-22 d2-表1)
1-3	毎年、文学部教務委員会（学部・各学科に設置）において、理念・目的の適切性について、検証する機会を設けている。また、年度ごとの自己点検・評価でも検証を行っている(B1-16)。

【効果が上がっている事項】

1-1	
1-2	2016年度文学部新入生サブテキスト『文学部へようこそ』を刊行し、主として専任教員と新入生に周知を図る予定である。
1-3	

【改善すべき事項】

1-1	
1-2	
1-3	

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

A1-1	大東文化大学学則
A1-9	文学部 履修の手引 平成28（2016）年度入学生用
B1-6	大学ホームページ（情報公開） http://www.daito.ac.jp/information/open/index.html
B1-16	大東文化大学ホームページ（自己点検・評価活動） http://www.daito.ac.jp/information/examine/inspection/index.html
B1-22	大学データ集

<大学基礎データ> d1-表1 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2016年4月1日現在)
[追加資料]

Ⅲ【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価					
			2014	2015	2016	2017	2018	
中期目標 (2014～2018)	1-2 新入生向けのサブテキストを刊行し、学部学科の理念、目的が学生に周知されている。	サブテキストが刊行されている。サブテキストを基礎演習等の1年次科目で使用し、理念・目的が学生に広く周知されている。	→			S		
14年度目標	1-2 入学志願者数の前年度比の検証と対策を学部教授会において、意見を集約する。	2014年度の教授会で左記のことについて意見の集約が行われ、学科によっては高校訪問回数を増やしている。	→	A				
15年度目標	1-2 特に新入生向けのサブテキストを刊行する。	サブテキストが刊行されている。			S			
16年度目標	1-2 刊行したサブテキスト『文学部へようこそ』を使用し、学部学科の理念、目的が授業を通じて、学生に周知されている。	左記のテキスト使用状況を通じて意見の集約を行う。				S		